

70 「伝統文化の復興」

【き】 伝統文化を復興

第2次世界大戦前に途絶えてしまっていた地域固有の伝統文化「八朔のひな祭り」の復興を目指そうと、平成15年から活動を始めました。ちなみに八朔とは、旧暦の8月1日のことです。

【概】 八朔のひな祭り

八朔のひな祭りをみんなで盛り上げ、地域内外にその情報を発信しようと地域住民に呼びかけました。

18軒の家が協力してくれました。ひな祭りのお供え物である、米の粉を練って蒸し上げる新粉細工づくりを、子供からお年寄りまで一緒になって取り組みました。

また、みんなでひな祭りを飾る家の目印となるちょうちんをつくりました。初めてのことで不器用なできでしたが、灯を入れるととてもきれいでした。

このようにみんなで準備を進め、平成15年8月17日から28日まで、各家にひな人形を飾り、伝統行事である八朔のひな祭りを復興しました。

【成】 自分たちが楽しみ、まちがにぎわうまちづくり

開催期間中は地域の外からたくさんのお客さんが来てくれました。地域の一人暮らしの老人たちは、外来者とふれあうことで生き生きしてきました。

みんなが協力しあい、ちょっとしたことに取り組むことで、まちをにぎわせることができるんだということ、自分たちが楽しむことがまちづくりになるんだということを実感しました。

【夢】 一人でも多くの人に参加してほしい

一人でも多く参加者が増え、毎年八朔の頃には室津全体がひな飾りで華やかになってほしいと思っています。



駐在所に飾られたひな人形

室津を活かす会

代表者氏名：開発誠
活動地域：御津町室津
事務所等：揖保郡御津町室津363
電話番号：07932-4-0040
FAX番号：07932-4-0080

とも
に
取
り
組
んだ
団
体
等

「嶋屋」友の会

室津以外の人々にも見学をしてもらうため、参加者の呼びかけに協力してもらいました。

活用した支援

地域づくり活動応援事業（兵庫県）



みんなの家が開催地

八朔のひな祭りでは、「ひな人形を飾ってある家には、自由に中に入って、ひな人形を見てよい」ということになっています。

これを行うことによって、地元住民と見学者とのふれあいの機会をつくることができるとともに、観光客が休憩できる場所がないのですが、各家をその場所にすることができました。



老人会の人脈で伝統文化に詳しい人を探す

地域の伝統文化を正確に復興させるには、そのことに詳しい高齢者の協力が不可欠です。

そこで、老人会の会長に相談し、詳しい高齢者を紹介してもらいました。みんなでその人に学びながら、古い風習どおりに八朔のひな祭りを実施することができました。

力になってほしい人がいるときは、その人につながりがあるのはどんな人なのかを考えることがポイントです。



みんなで新粉細工づくり



ひな人形を飾る家を訪れる人たち

読者の皆さんへのメッセージ

まちづくりのきっかけは身近な所に眠っています。それを見つけて、どうやって生かすかがポイントです。皆さんも、地域の中でまちづくりに生かせそうなものはないか、考えてみてください。